

「田代小学校の上柴立棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立田代小学校

2 学年・人数

5, 6年(24人)

3 日時・場所

- (1) 練習の日時・場所 7月と8月で5回
- (2) 発表の日時・場所 9月20日(日)

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事について

- (1) 名称
上柴立棒踊り(かみしばたてぼうおどり)
- (2) 由来
田代地区の棒踊りは, 五穀豊穰や無病息災を願い, 薩摩半島から百年前に伝わったとされる。
- (3) 構成等
上柴立棒踊り保存会 8人

5 保存会や地域との連携の具体

地元の文化を引き継ごうと保存会のメンバーが小学校の夏休み期間を利用して毎年5日間, 夜の7時半から9時まで指導して下さる。主に保存会長と連絡を夏休み前にとり, 日程を決める。5・6年児童が4人一組となって隊列を組み練習し, 大きなグループを形成する。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

今年度は, 運動会で披露した様子が9月26日付の南日本新聞で紹介された。町より特色ある教育活動費として計上して頂いた予算で, 学校で購入することができた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



運動会当日の発表の様子



南日本新聞の記事より



練習の様子



棒踊りの歌を音楽の時間に（郷土の音楽）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

夏休みにある夜の練習はきついこともあるが、しっかり練習して運動会で発表したい。練習では録音したものを使うが本番では生歌を披露してくださる。打楽器等が入っていないためリズムをとるのがとっても難しいが、保存会の方々の熱意を感じながら一生懸命練習している。

【保存会】

過疎高齢化が進み、踊りを知る住民が少なくなった。今後も児童への指導を続け、後継者を育てていきたい。

【教職員】

これまでは法被も田代支所に借りに行っていたが、特色ある教育活動として予算を組んでいただき、法被の年次的な購入やクリーニング代を賄うことができている。私たち教職員も伝統芸能として大切に受け継ぎ、これからも守っていきたいと思う。